

# 紅葉まつり

平成30年11月11日(日) 活動報告書

11月11日(日)に主催事業『紅葉まつり』を行いました。施設を開放し、紅葉美しい秋の一日を過ごすことで、愛川ふれあいの村のよさを知り、身近に感じていただくことを目的とした事業です。

この日は小春日和の過ごしやすいお天気に恵まれ、出演者・出店者を含め2,100名以上のたくさんの方々に村を訪れていただきました。



駐車場からメタセコイアの並木を上がると、メインゲートの先に紅白幕で飾られたステージが見えます。この場所と集会室に設けられた屋内ステージを使って、地域の団体による演奏や踊りが披露されました。

ステージは、津久井ヶ丘幼稚園の鼓笛隊でスタート。「舞彩駒」の和太鼓演奏、愛川町レクリエーション協会の日本民踊、「わらばーず」の子どもエイサーと続き、熱演に拍手と歓声が湧き上がります。そして、座間吹奏楽愛好会と愛川高校和太鼓部の演奏で締めくくり。迫力の演奏は大好評でした。



いちょう並木の坂道を登っていくと、たくさんの体験・販売ブースが並びます。体験ブースは、クラフトや組みひもに昔遊びなど、ディスクゴルフやターゲットバードゴルフといった体を動かす活動もあります。販売ブースは、野菜、パン、ケーキのお店やフリーマーケットなどなど。村のスタッフが丹精込めて育てたサツマイモの焼きイモとイモフライは、人気ブースのひとつ。午後の早い時間には売り切れてしまいました。ブースを一つひとつ見ていると、あっという間に時間が過ぎていきます。

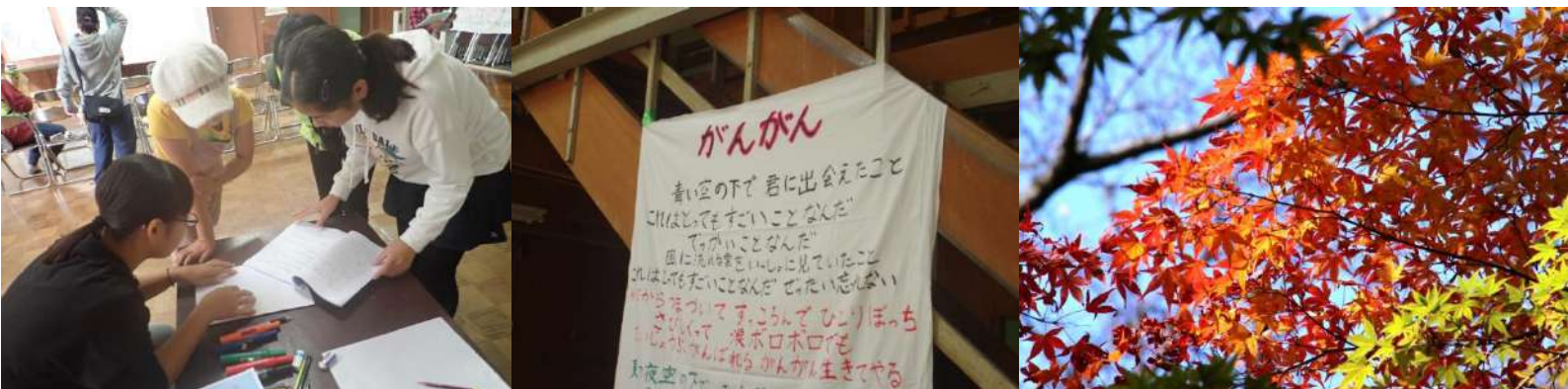
坂道の途中、池の前の広場ではバンド演奏が行われており、たくさんの方々がベンチに座って、音楽に耳を傾けながらのんびりと過ごす姿が見られました。





管理棟前の広場には、飲食ブースが並びます。おでんに川魚の串焼き、焼き鳥、ケバブにコロッケなどなど、おいしそうな香りがあたりに漂って、お祭り気分を盛り上げます。

また、去年に引き続き抽選会を行いました。出店者のみなさんに提供いただいた景品は、紅葉まつりを楽しむ気持ちに、うれしさをプラスできたのではないのでしょうか。



この日、8月の主催事業「1 WEEK キャンプ」の参加者が集まる同窓会も行われました。4か月ぶりの再会ですが、キャンプの思い出の詰まった文集や写真を見たり、いっしょに紅葉まつりを楽しむことで、キャンプの思い出がよみがえります。



『紅葉まつり』は愛川町をはじめとする周辺地域の自治会や学校、団体、お店の方々の力添えによって作られる、あたたかなイベントです。今年もそのあたたかさを存分に感じることができました。ご協力いただいたみなさん、遊びに来てくださったみなさん、本当にありがとうございます。

【文責：事業担当・金山】